



認証番号 36

共立冷熱株式会社

■所在地／宮崎市大字赤江1797番地4

■業 種／建設業

■代表者／代表取締役 桐原 雅大

社員同士のコミュニケーションを高め、 活気のある会社を目指す

ストレスチェック実施

100%

資格取得支援制度や社員同士でのピアボーナス制度などを取り入れ、社屋とともに社風も一新。「社員が財産」という視点に立ち、働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。



Q 取り組むきっかけは？

改革を始めたのは4年前。現社長の就任をきっかけに新社屋移転に伴う業務効率化や、各種制度の整備に取り組みました。

同時に「ひなたの極」認証取得を目指すことで、社員のモチベーションアップ、対外的に働きやすい職場としての認知度アップ、今後の人材確保にもつながると考えました。

Q 取組の内容は？

独自の取り組みとして、社員同士が仕事の中で生まれた感謝や賞賛の気持ちを、メッセージとともにポイントとして送ることができる「ピアボーナス制度」を導入しています。送られたポイントは給与に上乗せして振り込まれるため、モチベーションや定着率のアップにつながっています。また毎日顔をあわせることができない社員同士のコミュニケーションツールとしても役立っています。

またリクルート対策として、社用車へのラッピングやSNSを定期的に更新するなど一般的認知度を高める取り組みにも力を入れています。当社の業務は企業間取引がメインのため、まずはロゴマークやSNSを通じて会社に興味を持ってもらうきっかけができればと思っています。

その他、サポート職の新規雇用やノー残業デーの導入、各種休暇の取得促進も行っています。

VOICE

【従業員の声】

業務での不明点や不安など常に上司や先輩が気にかけてくれるので、失敗を恐れずにチャレンジすることができています。また働き方では制度が良くなり、定期的な社内食事会など福利厚生も充実しています。部署を越えて社員交流できる楽しい職場です。(20代・男性)

上司から年次有給休暇取得の声掛けがあり、自分の好きなタイミングで休みが取りやすい環境です。日々の業務の進捗状況確認やフォローもしてもらえるので、スケジュール管理もしやすく、残業時間が少ない働きやすい職場です。(30代・女性)

Q 取組の成果は？

以前は技術職員が社内外の業務を全て担っていましたが、社内の事務を担当する「サポート職」を雇用、さらにノー残業デーの導入により非効率な時間外労働が大幅に減りました。

年次有給休暇やバースデー休暇など、各種休暇の取得促進により、多くの社員がオンオフの切り替えや心身のバランスを保つことができていると感じています。

また新社屋への移転は、作業・在庫管理の効率化や社員のモチベーションアップ、仕事に対する意識改革にも繋がりました。社内には活気が始まっています。

Q 今後の取組について

当社が扱う冷凍冷蔵設備は電気・水・ガス等に次ぐ重要なインフラだと考えています。冷媒として使用されるフロンガスをこれからも適正に管理し、今後の地球温暖化防止、SDGsの達成にも貢献していきたいと考えています。

また冷凍冷蔵設備の修理は緊急を要することが多く、サービス体制を維持するために時間外労働が発生しがちです。これからも優秀な人材を採用し続けると共に、働きやすい労働環境を模索し維持していきたいと思っています。



【代表者の声】

代表取締役 桐原 雅大

全国有数の食糧供給基地である宮崎県。その「コールドチェーン」を維持する使命感を持って、日々の事業活動を行っております。その中でバースデー特別休暇や残業時間削減など、人材である社員が働きやすい職場づくりに取り組んだ結果、各種制度利用が促進されるなど社員満足度もアップしております。今後もより良い職場環境を整備し、インフラの一つである冷凍冷蔵設備を通して、地域社会への貢献を果たせるよう努力してまいります。

